

〇コロナ禍における商店街等の販売促進に係る優良事例 〈くりやま駅前通り商店街協同組合（栗山町）〉

■商店街の概要

栗山町は、道都札幌市、空の玄関口新千歳空港、港湾苫小牧市に車で約 1 時間の距離にあり、1 次、2 次、3 次産業のバランスがとれた、人口 1 万 2 千人ほどのまちである。

栗山町の主たる商店街は駅前通りに位置し、昭和 60 年（1985 年）代に近代化事業の取り組みを行うために商店街連絡協議会を設立し、平成 3 年（1991 年）に「くりやま駅前通り商店街協同組合」が設立・登記され、近代化事業が始まった。平成 13 年（2001 年）に完成し、現在の商店街となる。

現在の活動としては、ポイントカード事業、ギフトカード事業、ワンデーバーゲン事業など販促事業と、会員へのサービス事業を展開している。現在、組合員 33 名、賛助会員 8 名。



〔くりやま駅前通り商店街〕

■新型コロナウイルス感染症の影響

感染症の影響により、大きな事業（老舗祭り・夏祭り・盆踊り・秋祭り）がすべて中止となり、外出自粛の影響で来街者が減った結果、売り上げは最大で数十パーセント減少した。

しかしながら、国や道、町からの支援金が給付されたことも助けになり、感染症による廃業はなかった。

■プレミアムギフトカードについて

平成 15 年（2003 年）から販売しているギフトカードに、プレミアム率 30 パーセントを上乗せし、販売価格 10,000 円で 13,000 円分使うことができる「くりやまプレミアムギフトカード」を 5,000 セット販売。町外からの要望もあることから、購入を町民に限定せず、広く販売した。

利用可能事業者は 122 店舗、飲食店については感染対策を十分にとった第三者認証店であることを条件とした。



〔くりやまプレミアムギフトカード〕

■補助金の活用

令和 4 年（2022 年）度は「地域事業者連携型販売促進等支援事業費補助事業」を活用して、加盟店にのぼり、シール、ポスター等の配付と、チラシの新聞折り込みをしたことにより消費者の認識が向上した。

また、景観効果として同じのぼりが並ぶことで活気ある商店街を演出した結果、三会場で即日完売となり、利用率も 99.38 パーセントとなった。



〔補助金を活用して作成したのぼり（左）シール（上）〕



〔補助金を活用して作成したポスター〕

■プレミアムギフトカードの効果

プレミアム分が上乘せされていることにより、購買意欲が向上し、普段よりも約10パーセントの売上増があった。

また、外出機会が増えることで消費意識も高まるため、相乗効果があったと考える。

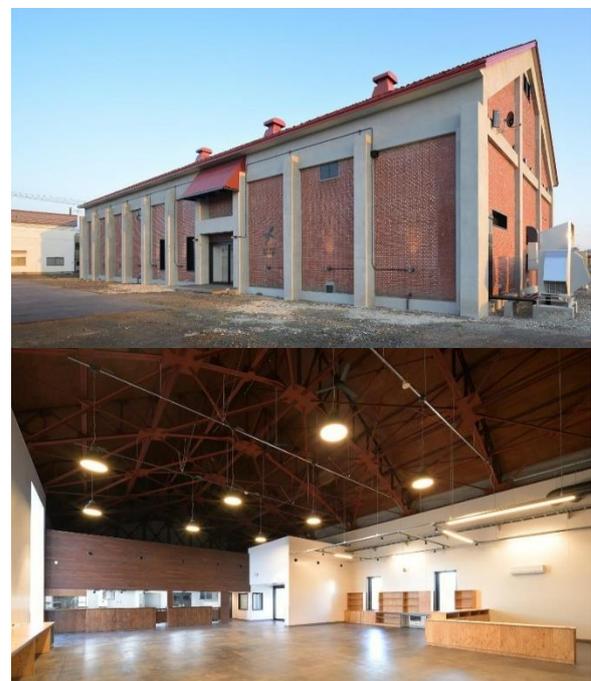
■現状と今後の展開

現在、廃業や空き店舗は少ないが、人口減少と経営者の高齢化、後継者不足等の問題を早急に改善する必要がある。

くりやま駅前通り商店街協同組合としては、町や商工会議所と連携しながらデジタル化が進む環境を整備していくことを一番の目標としている。

一方、町では令和元年（2019年）度から令和4年（2022年）度まで、「栗山町商店街活性化アクションプラン」を策定し、令和4年（2022年）度は「くりやま暮らし応援商品券」を町民に配布、商店街の活性化に繋げた。

また、駅前に既存施設を改装した交流拠点施設「栗山煉瓦創庫『くりふと』」を令和5年（2023年）4月1日にオープンする。こちらの施設では人々の地域交流や、飲食店並みの調理スペースを利用して実際に商品を販売することができ、最終的に商店街の空き店舗へ出店を目指すことから、今後の地域活性化が期待されている。



〔くりやま暮らし応援商品券、栗山煉瓦創庫『くりふと』〕

取材先

■くりやま駅前通り商店街協同組合

夕張郡栗山町中央2丁目92

TEL：0123-72-6636